

送辞

初春の良き月、気はうららかにして風は穏やかに吹いています。
梅は鏡台の前のおしろいのような色に花開き、蘭は腰につける匂い袋のように薫っています。この良き日に卒業を迎えられた卒業生の皆様、並びに修了を迎えられた修了生の皆様、この度は本当におめでとうございます。

コロナウイルスにより来られなかった在校生も含め、一同心よりお祝い申し上げます。

卒業・修了される皆様は友達やクラスメイトと過ごした福井高専での思い出が頭に浮かんでいることと思います。

入学してすぐの一発芸。提出日ギリギリになって書き出したレポート課題。ノリと勢いで髪を染めた体育祭。なんとなくTwitterを見なくなるテスト週間。一生の思い出ができた研修旅行。そして、高専で学んだことの集大成として取り組んだ、しかし発表することができなかった卒業研究。

先輩方が高専生活で体験した全ての事は、この先の人生においてもキラキラと胸の中で光る大切なものとなって残り続けるだろうと思います。

私達が先輩方と出会ったのは今から約四年前のことでした。一年生だった私達は、学科のイニシャルのピンバッジをつけ、先輩らしく私達に接してくれていながらも、初々しい雰囲気を残した先輩方の親しみやすさに、初めての環境で不安だった気持ちを和らげてもらいました。学年が上がるにつれ、だんだんと風格と威厳を身につけていった先輩方を見て、私達もさらに尊敬の念をつのらせるとともに、頼もしい先輩方に後輩として可愛がってもらえることを嬉しく思いました。

そんな先輩方も、今年、卒業・修了生として福井高専という学び舎から巣立っていきます。

これからは、私達が先輩方に代わってこの学校を支えていかなければなりません。先輩方が残していったものを受け継ぎつつ、私達なりに日々切磋琢磨していきます。

今年は平成から令和へと移り変わる時代であるとともに様々な
災難が起こった年でした。京都アニメーションが燃え、台風十五号
が首都圏に直撃し、沖縄の首里城が燃え、現在コロナウイルスが猛
威を奮っております。

先輩方が新しい道に進まれた後にも、辛いことや苦しいこと、思
わぬアクシデントに遭遇するかもしれません。しかし、この福井高
専で積み上げてきた経験が、困難を乗り越えるための助けとなる
ことを心より願っております。

最後に、卒業生、修了生の皆様のご健康とご多幸、ご活躍を祈念
して、送別の言葉とさせていただきます。

令和二年三月十九日

福井工業高等専門学校

在校生代表

物質工学科四年

新谷 初芽